



ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会

〒251-0026 藤沢市鵠沼東8-2 秩父宮記念体育館内

URL <http://www.fujisawa-taikyo.org/>



会長 林 良雄

スポーツの持つ楽しさや意義を広めていこう

「健康で豊かなスポーツライフの実現をめざして」をキーワードに、藤沢市がスポーツ都市宣言を2021年10月1日に制定してから、2年近く経とうとしています。

宣言にある「いつでもどこでも だれでも いつまでも」を合言葉に、藤沢市体育協会は、今期(令和5年度/6年度)は、三期目の林会長、新任の青木副会長、佐藤副会長の新体制となり、林会長に抱負を語っていただきました。

Q1 体育協会の役割あるいは使命についてのお考えは。

「藤沢市を統括するスポーツ団体が6団体ある中で、体育協会は競技愛好者を増やしていくことや、競技力の向上を図り、アスリートを育てることが使命であるとともに主な役割だと考えております。」

Q2 スポーツの推進に向けてどのような取組をお考えですか。

「ゲームやレジャーなど、余暇の過ごし方が多様化する中で、スポーツの持つ楽しさや意義について、多くの皆様に知って頂く機会を全加盟団体で実施していきたいと思います。また、色々なスポーツ教室を開催していくことも大切であると考えています。」

Q3 スポーツ連盟との連携協力についてはいかがでしょうか。

「健康を維持することや仲間作りをするためには、外へ出てスポーツすることがいかに役立つかを、スポーツ連盟の活動の中で周知し、体験できる機会を構成6団体で力を合わせて作っていききたいと思っています。健康寿命日本一を目指して連携協力を進めたいと考えています。」

Q4 加盟団体に対する期待は。

「少子高齢化の影響もあって厳しい状況ですが、決して諦めずに会員確保に努めて欲しいと思います。そして優秀な選手の育成を図ると共に、本部を運営する役員の人材確保にも力を注いで欲しい。」

Q5 体育協会に加盟する選手や役員の方へお伝えしたいことは。

「スポーツの持つ楽しさや意義について自覚し、そのことを大きな声で多くの方に喧伝していただきたい。また、選手生活が終了してもそこで競技を離れるのではなく、後に続く人のために役員として活動を続けることを望みたい。」



スポーツ都市宣言の碑



ビデオ講習



胸骨圧迫

AED救命講習会



年度初めの事業として、「AED救急法講習会」を、今年6月10日(土)9時30分より、秩父宮記念体育館1階武道室で、各加盟協会から25名が参加して開催しました。救急救命の重要性についてビデオを通して学び、その後4班に分かれて、熟練した救命救急士から普通救命講習を受けました。藤沢市の救急体制は119番通報してから平均7分で救急隊が到着しますが、現場で一次救命処置をしなければ、生存率は低下し、蘇生が成功しても社会復帰が難しいと言われていました。参加者全員が、傷病者の体内の血液を循環させるための胸骨圧迫や人工呼吸の方法、AEDの使用方法、気道異物除去法など一次救命処置の実技を学びました。胸骨圧迫では手の手根部を胸骨の下半分置き、腕を垂直に伸ばして早いテンポで押ししますが、何回も練習してないと上手くいきかないし、一人で続けるには体力がいります。胸骨圧迫による心肺蘇生法はAED使用の準備中や電気ショック完了時にも必要となります。2時間の講習会でしたが、貴重な講習でした。(杉測)

令和5年度 藤沢市体育協会事業計画

＜今年度重点課題＞

(1) 組織強化に向けた取り組み

常任理事会・理事会・4 専門部会及び評議員会の充実を図ると共に、自主財源確保に努め、加盟団体の活動を積極的に支援し、市民の健康増進に寄与する事業の推進及び新たな会員の発掘に取り組む

(2) 強化普及に向けた取り組み

各団体の選手育成強化については、これまで通り各団体において進めていただき、その結果・成果に基づく支援については夢基金からの支援を継続する。普及については、組織強化のためにも愛好者の拡充が必要であり、講習会や教室等を一定期間開催し、拡充が図られた団体への支援を継続する。

1. 評議員会、常任理事会、理事会、専門部会（総務事業部会・財務部会・広報部会・強化普及育成支援部会）の開催

2. 藤沢市委託事業の実施

- (1) 藤沢市民総合体育大会継承大会開催事業
- (2) スポーツ人の集い開催業務（表彰式典及び講演会）

3. 藤沢市スポーツ関係団体との連携充実

- (1) 藤沢市スポーツ推進計画 2029 に基づくスポーツの推進
- (2) スポーツ推進課、(公財)藤沢市みらい創造財団、藤沢市医師会等との連携
- (3) 藤沢市スポーツ連盟施策の相互協力と連携

4. 本協会の主催行事と共催行事

【主催行事】

- (1) A E D 救命法講習会の開催
- (2) 加盟団体会長会の開催
- (3) スポーツ人の集いの開催

【共催行事】

- (1) 藤沢市医師会と共催でスポーツフォーラムを運営し、健康管理一般等の講演会を開催
- (2) 「スポーツまつりふじさわ」の開催協力と積極的な参画を図る

＜令和5年度藤沢市民総合体育大会継承大会＞

競技種目	開催日	会場
陸上	7/29(土)～7/30(日)	神奈川県立スポーツセンター
軟式野球	10/15(日)～11/19(日)	八部公園野球場他
ソフトテニス	8/27(日)	八部公園テニスコート
バレーボール	6/18(日)	秋葉台文化体育館
バスケットボール	6/10(土)～7/9(日)	秋葉台文化体育館他
卓球	9/3(日)	秩父宮記念体育館
水泳	7/9(日)	秋葉台公園屋外プール
射撃	7/16(日)	大井射撃場
剣道	8/20(日)	秩父宮記念体育館
サッカー	8/15(火)～2/10(日)	秋葉台公園球技場他
山岳・スポーツクライミング	9/18(月・祝)	県立山岳スポーツセンター
柔道	11/19(日)	秋葉台文化体育館
スキー	1/27(土) (調整中)	菅平高原スキー場 (調整中)
バドミントン	6/10(土)～8/13(日)	秩父宮記念体育館
空手道	10/15(日)	秩父宮記念体育館
ソフトボール	4/16(日)～5/7(日)	天神スポーツ広場他
弓道	7/9(日)	秩父宮記念体育館弓道場
テニス	7/8(土)～8/12(土)	八部公園テニスコート他
ラグビーフットボール	5/13(土)～1/21(日)	秋葉台公園球技場
ハンドボール	12/9(土)～12/17(日)	秋葉台文化体育館
体操	8/6(日)	秋葉台文化体育館
ゲートボール	11/19(日)	秋葉台公園球技場
ヨット	8/6(日)	江の島ヨットハーバー沖
ゴルフ	8/28(月)	芙蓉カントリークラブ
ボウリング	11/23(木・祝)	江の島ボウリングセンター
グラウンド・ゴルフ	11/15(水)	秋葉台公園球技場
アーチェリー	10/15(日)	御所見の森アーチェリー練習場
バウンドテニス	12/3(日)	秩父宮記念体育館
サーフィン	9/3(日)	鵜沼海岸スケートボードパーク前
ダンススポーツ	1/14(日)	秩父宮記念体育館
カーヌー	10/29(日)	引地川
スケートボード	開催日未定	
自転車	11/25(土)	KOASTAL BIKE PARK

令和4年度収支決算

1. 収入の部 (単位 円)		2. 支出の部 (単位 円)	
項目	収入済額	項目	支出済額
体協費	7,203,462	運営費	6,998,931
補助金及び交付金	3,670,000	事務局費	1,762,564
委託料	1,200,000	事業費	5,236,367
賛助会費	1,520,000	積立金	0
分担金	593,700	予備費	0
繰越金	219,750		
雑収入	12		

収入済額 7,203,462 円
 支出済額 6,998,931 円
 差引額 204,531 円

【一般会計】		【特別会計】	
項目	収入済額	項目	支出済額
事業費	761,367	事業関係費	761,367
スポーツ人の集い	761,367	スポーツ人の集い	761,367
加盟団体会長会	0	加盟団体会長会	0

収入済額 761,367 円
 支出済額 761,367 円
 差引額 0 円

令和5年度収支予算

1. 収入の部 (単位 円)		2. 支出の部 (単位 円)	
項目	収入済額	項目	支出済額
体協費	7,587,000	運営費	7,587,000
補助金及び交付金	3,670,000	事務局費	2,051,600
委託料	1,398,000	事業費	5,333,000
賛助会費	1,500,000	積立金	200,000
分担金	595,000	予備費	2,400
繰越金	204,531		
雑収入	219,469		

【一般会計】		【特別会計】	
項目	収入済額	項目	支出済額
事業費	2,070,000	事業関係費	2,070,000
スポーツ人の集い	1,550,000	スポーツ人の集い	1,550,000
加盟団体会長会	520,000	加盟団体会長会	520,000

日常にはないシューティングに虜



矢を放つ

マイナー競技と思われがちのアーチェリーですが、藤沢市には3つの練習場があり、中でも御所見にはオリンピックと同じ70m競技が可能な射場があります。その為市外県外からも登録者が多く、現在50名を超えるメンバーで構成されています。

その中にはオリンピックを目指している現役大学生。広いグラウンドでメダリストと競い合う試合や、スキー場や森で狩りをするスタイル的の射る試合など、それぞれ全国大会等で活躍しているトップ選手もいます。そんな強者と共に練習しているのは、家族と参加する小学生や家庭が一段落した主婦。学生時代の競技経験者もいれば健康の為に会話と弓を楽しむ者など、技術の差こそあれ、互いに付度しながら完成度を求めて個々練習しています。僅かな体のブレと気持ちの乱れがミスにつながる競技。

自身の心と体、微かな音と振動に全神経を集中させて矢を放つ。それを何度も繰り返すのがアーチェリーです。この日常にはないシューティングの一瞬に虜になってしまったのが、私達藤沢市アーチェリー協会のメンバーです。

(白川)

スケートボードの普及と現状

東京2020で「13歳真夏の冒険」この名言から始まった、日本スケートボードのメダルラッシュはまだ記憶に新しい出来事ではないでしょうか？



醍醐味

オリンピックの活躍もあり、今日本はスケートブームではないでしょうか。そのブームに比例して、競技人口も増加していますが、一方で増加とともにスケートボードを楽しむ場所が日本中には足りていません。路上で行うとクレーム、警察との鬼ごっこことスケートボードを楽しむマナーも問われ始めているのは事実です。

しかし、スケートボードの始まりは、ストリートであり、路上にあるセクションを滑走することが楽しみ方の一つでありスケートボード醍醐味でもあります。今、藤沢市に足りないのは、フィールドです。スケートボードだけではなく、バスケットボール、野球、サッカー等を公園でする場所もなく、近所の公園は、ボール禁止等、子どもが遊ぶ場所がないのが現状です。路上でするのは禁止、有料公園に通うのも子どもには厳しいのが現状です。

スケートボードだけの考えではなく、海浜公園等をアメリカカリフォルニアのように、ビーチ沿いに無料でも使える各種多用のプレイグラウンドを作っただけですと、日本中から藤沢市はやっぱりスポーツ都市宣言しているだけあって、理解もあり、人気のある街になることは間違い無いでしょう。その中に、夕暮れの富士山と江ノ島をバックにスポーツを楽しんでいる笑顔があれば最高です。

(清水)



藤沢クラブの皆さん

4月29日(土)藤沢、鎌倉、茅ヶ崎、寒川中学校が参加し、黒田杯争奪三市一町中学生バレーボール大会が寒川総合体育館で開催されました。藤沢クラブが2連覇、6度目の優勝を飾りました。黒田杯とは、昭和の藤沢商業高校時代に春高バレー3連覇を含む、全国大会優勝9回の偉業を成し遂げた、故黒田裕監督の功績を称え、平成31年度から優勝チームに贈られている。尚、Bブロック優勝は、御所見中学校、女子のAブロック優勝は、鶴沼中学校が優勝とバレーの藤沢健在なりを示した。(荒井)

黒田杯優勝



編集後記

最近、朝早くからジョギングする市民や散歩する人を多く見かける。健康には、自分の体調に合わせて、体を動かすことが、何よりである。スポーツは、個人で楽しむ競技からチームで力を合わせて勝敗を競う競技まで幅広く、世代を超えてスポーツを楽しんでいる。その結果、県レベル、全国レベル、世界レベルで活躍する人も育っている。スポーツを楽しむ場が、より多く整備されることを願っている。(杉淵)



全日本選手権大会 本戦の代表権獲得



藤沢市立高谷小学校 6年 さかた みう 坂田 光羽

2023年全国卓球選手権大会神奈川県予選(小学6年生以下の部)で個人3位に入賞しました。小学1年から本格的に卓球を始め、6年生で初の全日本選手権大会本戦の代表権を獲得しました。

今年は、全国ホープス卓球大会県予選(小学生団体戦)と、全日本クラブ卓球選手権県予選(小中学生団体戦)でも主力選手として活躍して優勝し、全国大会本戦出場を決めました。練習は1日2時間の週5日、高谷小学校体育館や町内会館、藤沢市のクラブチーム等で行っています。これからも、運動(卓球)も勉強も頑張ります。